

市有施設に設置しているAEDへの「三角巾」の配備について ～救命率の向上を目指して～

心肺停止の傷病者に遭遇した場合、救命率を大きく高めるためには、心肺蘇生に併せてAEDの使用が重要となります。そのAEDを使用する際、傷病者のプライバシーを保護し、躊躇せずAEDを使用してもらうため、呉市内の市有施設に設置しているすべてのAEDへ三角巾※を配備することで、救命率の向上を目指します。

(※) 三角巾は、プライバシーの保護のほか、止血や骨折の固定など応急手当にも活用できる資器材です。

【配備先】

呉市内161の市有施設のAED167台

